

第二回 IT 活用分科会(大阪) 議事録	
日時:	2009/12/02(水) 15:00~18:00
会場:	大阪丸紅ビル 13F E 共用会議室
テーマ:	iPhone のビジネス活用とその導入事例
講師:	ソフトバンクモバイル株式会社 マーケティング本部 iPhone 事業推進室 シニアエヴァンジェリスト 中山 五輪男 氏
司会・進行:	IT 活用分科会座長 ニッタ株式会社 コーポレートセンターIT グループ 船堂 晃 氏
<p>※当分科会の運営方針により、個人/会社名を特定できる発言、および発表者から公開の許可を得られなかった内容は 議事録より削除されています。あらかじめご了承ください。</p> <p>[事例]</p> <p>◆青山学院大学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席管理システムと連携し、生徒は教室に来て iPhone から出席ボタンを押すことで出席扱いとなる。GPS で位置情報を拾っているので、教室に来ていないと出席扱いにはならない。これは一般企業でも使えるはず。 Q.このシステムを販売する予定は？ A.販売予定はある。東京システム技研が開発している。大学、一般企業などで使えるだろう。特に派遣会社では、派遣社員が現地に行っているかどうかを把握できていないので、有効だろう。 ・IT パスポート試験のレクチャーを iPhone で行なう。従来の冊子の教科書は使わない。 ・授業を iPhone で受講できる。今後インフルエンザなどが流行した場合、従来型だと授業が成り立たなくなる。 ・infoteria:ハンドブックというクラウドサービス。紙の配布物をやめ、iPhone 上で閲覧。 ・AED の使用法を iPhone 上のムービーで閲覧 <p>◆小学校(長野県)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聴覚障害者向け:先生が Bluetooth を首からぶらさげ、生徒の iPhone から音声を拾い、キーパンチャーに送信。キーパンチャーがリアルタイムで先生の言葉をテキスト化し、再度生徒の iPhone に送信。 音声を直接テキスト化するツールが使えない理由は、方言による訛りや、早口などで正確に読み取れないことがあるから。 <p>企業でも聴覚障害を持つ社員が、会議で何が議論されているかを知ることができるし、議会においても聴覚障害者の傍聴の際にこういうシステムは役立つ。</p> <p>◆大栄総合教育システム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1000 台の iPhone を導入。社会人学生が多い。 ・簿記、経理、医療事務、税理士を目指す人のための、通信講座、授業の資料、教材、動画のオンデマンド配信。 	

自宅で学習する生徒が多いので、他の生徒とのコミュニケーションツール(twitter など)として活用。

◆Abilene Christian University(テキサス州)

- ・2000 人の学生に無料で iPhone を配布
- ・学校案内やシラバス、全教師、生徒の連絡網、学内シャトルバスの運行状況などの iPhone 上で確認できる。アプリケーションは学校の先生が作成した。
- ・出席管理システムにより、当該授業に誰が出席しているかが iPhone 上で確認できる。自宅でオンデマンド配信の授業を受講しても、学校で受講しても OK。

日本では、携帯電話を持ち込むなという風潮であるが、アメリカでは逆。こういったモバイルインターネットマシンをどんどん活用して、授業中に分からないことがあれば、自分で Wikipedia などですぐに調べ、授業について来なさいというスタンス。

◆関東学生アメリカンフットボール連盟

- ・ルール改正が頻繁に行なわれるため、その告知に使用。
- ・お客様には、選手名鑑や試合日程などを配信して、ファンを増やすなどの活用法。

◆福岡ソフトバンクホークス

- ・選手、関係者全員に iPhone を配布。
- ・ホークス関係者のみが閲覧できるアプリケーション。
- ・球団、野手、投手、すべて検索ができる。試合もすべて閲覧可能。
- ・毎日試合が終わると 23 時から編集開始、翌日早朝 8 時には前日の全試合の詳細が閲覧できる。

◆金融

現在 iPhone3GS がリリースされているが、前モデルの iPhone3G は、セキュリティレベルの問題があり、金融関係では受け入れてもらえなかった。3GS になってセキュリティレベルが飛躍的に向上している。

- ・すべてのデータが暗号化。
- ・すべての通信が暗号化。
- ・パスワードの詳細設定、英数混合 15 文字など。
- ・パスコード 3 回入力失敗で iPhone 上の全てのデータを抹消するなどの設定。
→iTunes へのバックアップから復元が可能
- ・紛失した場合、管理者がリモートで iPhone 上のデータを抹消することが可能。

◆AIG エジソン生命

- ・営業支援システムに iPhone を活用。
- ・外出先から VPN 接続し、業務システムにアクセス。

◆アリストライフサイエンス

- ・昨今の不況により、人員削減が行なわれているが、業務効率を上げろという厳命。
- ・iPhone を導入。アプリも自由にインストール許可。TOEIC などのアプリを使って、自己啓発などにも役立てている。

◆NJC ネットコミュニケーションズ

- ・外出先から VPN を使って、社内イントラネットにアクセスできる。
グループウェア、メールサーバ、ワークフロー、勤怠システムを外出先から利用できる。
- ・在籍管理システムのアプリを独自に開発。社員の所在が確認できる。
- ・機能制限なし、アプリ開発で蓄積したノウハウをビジネスにつなげている。

◆ソフトピアジャパン

- ・iPhone アプリの開発をレクチャーしている。

◆京都フラワーツーリズム協会

- ・京都は春と秋が繁忙期。花を目当てに観光客がやってくる。
- ・タクシーの運転手が花の写真を撮影してサーバにアップ。
- ・日産が花ナビというナビゲーションシステムを開発

◆三井アウトレットパーク仙台

- ・お客様に 100 台の iPhone を貸し出し。iPhone からお店を検索できるシステム。
→このアプリの開発元は、iPhone を使ったスタンプラリーなどもリリースしている。

◆ロエベジャパン

- ・セカイカメラによる、エアタグ。お店のブースに iPhone カメラをかざすと、お店の情報が瞬時に閲覧できる。
- ・表参道の本店前でお店にカメラをかざすと、店内にどんな商品があるかも分かる。

◆医療

- ・CT スキャンや MRI の画像をボタン一つで PDF に変換。変換した PDF もボタン一つでメーラーに添付。
iPhone を使って送信することで、すばやく症例閲覧が可能となる。またグループ通話機能を使って、遠隔地の先生同士で症例画像を見ながら、対策を練るといったことが可能。

◆トレック・バイシクル

・podcast を使って、エンドユーザは使用法などについてレクチャーを受けられる。

◆Craft

・2000 名以上の社員が iPhone を利用。

・iPhone を使ったワイヤレスオフィスの実現。

→ソフトバンクテレコムでも同様の取り組み。固定机無し、内線電話無し、社員は iPhone を持っている。

また、紙のドキュメントは複合機にかけることで、PDF 化し、iPhone に取り込まれるようになっている。

・消費者とのコミュニケーションツールを自社で作成。すでに Apple から提供されているツールを使って簡単に作成可能。

◆SI インターナショナル

・5500 名の社員が iPhone を利用。

・勤怠管理システムを iPhone で利用。

◆ボイルズタウン病院

・300 名以上の先生が iPhone を所有。

・患者のカルテをいつでも持ち歩ける。

◆アクセルスプリンガー

・SAP のシステムに iPhone からアクセスしている。

◆ソネンシアンナス

・SharePointserver を使って、600 万件以上の法律案件を iPhone に取り込んでいる。

◆慶応大学

・つぶやきブログ : twitter の活用

・一部授業に twitter を導入。受講しながら学生は twitter で質問する。ちょっとした質問も気兼ねなくできる。

→日本の大学でも授業に取り入れるところが増えている。日本の学生は直接質問をあまりしたがらないが、twitter でつぶやいてくれと言うと一斉に質問が増える。

※企業でも twitter を取り入れるところが増えている。イベントでの実況中継など。

→企業利用の場合、外部に情報が漏れるのはマズイので、社内でコミュニケーションツールとして利用するのも良い。

※議員が取り入れる例も

◆ケミンジャパン

- ・iNotes を使った、LotusNotes の iPhone からの利用。メール管理、スケジュール管理など。
- ・海外出張が多いので Map も使っている。

◆藤田観光

- ・メールを iPhone で通勤時、昼休み時、処理している時間が、平均 84 分/日。これだけの時間を節約できている。
→ソフトバンクでは、社員全員に iPhone を支給しているが、導入時のコストは約 2 億円だった。しかし、時間節約のコストを算出したら、20 億円のコスト削減になっているという試算になった。

◆ブライスウォーターハウス

- ・iAnywhere を iPhone から利用
- ・iPhone 利用により、約 66 分/日の時間節約に成功。
- ・社員間のコミュニケーションが早くなった。

[iPhone のビジネス活用における便利機能]

- ・メール→PC を開いてチェックすることがなくなった。
- ・音声コントロール→名前や電話番号の音声入力。
- ・GPS マップ→地図を印刷して持ち歩くことがなくなった。
- ・メールを音声で入力できる iPhone アプリもある。音声をサーバに転送→iPhone に返送。時間は 1 秒かからない。
→iPhone は、他のスマートフォンと比較してネットワーク処理が非常に速いから可能。
- ・営業日報の外出先からの音声入力。
- ・営業担当の現在地確認。
→自動車教習所で応用されている。送迎バスの現在地確認など。
- ・ BI サーバへアクセス、BI サーバにある売上情報、顧客数などが、iPhone から閲覧可能。

[まとめ]

大阪での講演では、東京と同じ事例紹介の後に東京で質問の多かった iPhone のビジネス活用におけるセキュリティ対策についての紹介がありました。

専用ツールによるコンフィグレーション固定機能や VPN 通信設定、さらにビジネス向けにクッキーや表示情報が保存されない形で表示可能なブラウザ「Biz Browser」の紹介がありました。大手保険会社によるセールスフォース利用事例や通信系ソフト会社によるグループウェア利用事例が紹介されました。参加者の興味としては VPN による社内 LAN への接続およびリモートコントロールによりどこまで使えるかなどでした。参加者からは一人を除いてビジネス利用の可能性があると認識になったようです。